



6



4



5



7



1



3



2

# ちょっと釣り道

[ 加布里湾、追憶のアイナメ編 ]  
Vol.24

- ①春の日差しにナニ想う……
- ②山口の海は冬の日本海……寒い
- ③この辺に高級魚のアコウも増えたわ…
- ④七山のハヤ(ホントは山女魚のハズ泣)
- ⑤阿蘇の外輪に想ふ
- ⑥サバは乱獲可能でありがたや
- ⑦これがアイナメ(鮎魚女)じゃ～

「Ars longa, vita brevis 芸術は長く、人生は短し」音楽家坂本龍一氏の好んだ一節。

80年代、一世を風靡したYMOの高橋幸宏氏に続き2023年3月にその坂本龍一氏も逝去されました。

私は数年前に父を亡くしましたが、「そこに必ず在る」と思っていたものが失われること、この歳になるとそれが増えてくるのだと実感せずにはいられません。万物は流転するという言葉もありますが、釣りを永く続けているとそれをよく実感させられるのは人生と同じなのかも。

「アイナメ」という魚がいます。子供のころは博多湾でよく釣れた魚です。一般の方にはあまり馴染みの無い魚かもしれませんが、鮎魚女とも書き、極めて美味で全国の釣人から愛されてる魚です。

それが地球温暖化の影響か、今や北部九州では見かけることが少なくなりました。私がそれを釣って楽しんでいた中学生の頃に比べれば、博多湾はかなり汚染が浄化されキレイな水質になったのです。

思えば私が釣りを始めたのは、育った家庭と父の影響があるのかもしれません。とにかく厳しくい

ろいろ遊びを制限されていた中で、近所のお兄ちゃんが町内の池でザリガニを釣ってくる姿がいかに羨ましく輝いて見えたことか！内緒でザリガニ釣りに行つては泥だらけになり叱られてました。

また幼少の頃、父は病気がちで入院と自宅での療養を繰り返してました。そのためあまり遊んだり相手にもしてもらった記憶も無いばかりか、神経質ですぐ怒られるため、あまり話したくはなかったくらいでした。そんな父がまだ元気だった頃、船釣りに行き魚がいっぱい入ったクーラーを開けて見せてくれました。今となっては大したことないサイズの魚が入ってる中身でしたが、その時に素直に凄いと感心しました。その後父が回復してきて、家族で加布里湾の渚に佇む割烹旅館に小旅行する機会がありました。その時に父が釣りをしようと言いついで親子で初めて投げ釣りをしました。

その時に父は25cmくらいのアイナメの大物を釣り上げたことから、ホントに釣り名人!?!と思えました。

それから大人になっても釣りや音楽を続けましたが、まともにアイナメが釣れたことはありません。加布里の割烹旅館もいつの間に



13



12



8



15



14



10



9



17 16



11

⑧アジングの竿でニジマスと遊ぶ ⑨近海にこんな巨大水イカが!! ⑩玄界島は夕陽に焦がれる ⑪静かな加布里湾に糸島富士 ⑫博多ポートタワーはブルーに映えてる  
⑬伊万里湾はオレンジに燃える ⑭ペラは散々……長崎では高級魚だけど ⑮南阿蘇の景観は忘れられぬ ⑯博多湾の刀狩りよ永遠なれ! ⑰玄界灘はレンコ鯛めっちゃ多いわ~!

か無くなっていました。  
釣りを続けることで、いつか父と何気ない対話ができるかもしれないと無意識に思っていたのかも。それから一度、父を連れて志賀島へ行く機会を持ってましたが、そこで見たのは荒々しい玄界灘の前に弱々しく、か細く丸まった父の背中と釣具の操作も覚束なくなった姿でした。それからは私も家庭を持ち自身も父になり、いつしかそんな追憶を思い起こす余裕さえ無くなっていました。  
そして数年前、父とは話さねばならないことはたくさんあったにもかかわらず、叶うことなく逝ってしまいました。  
その頃は坂本龍一氏の音楽からも遠ざかっていました。氏のデビューアルバムに「千のナイフ」という曲があります。毛沢東の漢詩の朗読が始まり、11台の当時最新鋭のシンセサイザーを駆使し山下達郎、渡辺香津美など超一流のプレイヤー達と作り上げた実験的なその曲は、まさに様々な音色のナイフが壮大に迫ってくる感があり、釣りに行く時の高揚感をさらに煽りたてました。それは中学時代、自分の足で博多湾などに冒険に出始めた頃に聞いていた曲でした。今

でも耳に残るその多彩で煌めく音色は、複雑な少年期の頃の、ウエツトだけどざらついた感情の機微を匂い起こしてくれる気がします。  
釣りを続けると、森羅万象の中に新しい発見をしたり、人との新しい関わりができたりすることがあります。  
釣り道というタイトルで拙稿を書かせていただいてきましたが、潮騒を聞きさんざめく星空の下、新しい交わりもできれば、求めたとしても、もう決して交わることもない歩みもあるのだと、今さらながら気づかされます。  
最近、ちよこちよ博多湾でアイナメが釣れ出したという話を聞きます。久しぶりにアイナメ釣りにーわ。  
釣りは、私を、いやあなたをいろいろなものから解放し自由にしてくれるかもしれません。音楽もいつも傍にありました。  
Musik Macht frei  
「音楽は自由にする」  
教授、貴方の軌跡と音楽は尊く正に久遠の快美で、十二分に永いものでしたよ。  
そんなことを想ひまた歩いていこう。  
び……codar.